

中期経営プランに基づく令和5年度計画の上半期実施状況等について

1 レイアウトの見直しについて

上半期実施状況は、これまでは30の取組項目を構成する個々の取組ごとに一覧表形式で公表していましたが、今年度からは経営評価と同様に30の取組項目ごとにまとめて公表することとし、加えて、事業に関連する写真を掲載するなど従来よりも見やすさを意識したレイアウトに見直しています。

また、計画に対する中間報告・最終評価という一連のサイクルであることを示すため、経営評価とレイアウト及びイメージを統一します。

2 上半期の実施状況について

今年度においては、昨今の社会情勢を背景とした物価高騰等の影響は継続しており、引き続き厳しい経営環境となっていますが、一層の経営努力を行いながら、単年度計画に掲げた取組を着実に推進しています。

3 公表について

資料2－2「京都市上下水道事業中期経営プラン（2023-2027）令和5年度計画 上半期実施状況」については、局ホームページで公表する予定です。

【上半期実施状況見直し案】

視点① 京の水をみらいへつなぐ				
方針① つくる				
水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります				
水質管理(水道)、浄水場の改築更新や維持管理				
数値目標	R4実績	R5目標	R5実績	達成状況
異臭(かび臭)のない水達成率	98.4%	100%	—	—
配水池の耐震化率	53.8%	53.8%	—	—

取組① 水源から蛇口までの水質管理の徹底	
○ 令和5年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○ 令和6年度水道水質検査計画の策定 ○ 水道GLPに基づく精度の高い水質検査の実施 ○ 水安全計画の運用、見直し	 水質監視装置 監視画面
上半期実施状況 ・水質検査計画に基づき、原水及び水道水の検査を実施 ・令和6年度水道水質検査計画の策定に向けた検討 ・水質検査に際しては、水道GLPに基づき手順書を見直すなど、精度の高い検査を実施 ・水安全計画に基づき水質管理を実施、適正に運用	

取組② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進	
○ 高機能な粉末活性炭の注入 ○ 蹴上浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事実施(R4年度事業開始・R7年度運用開始予定) ○ 松ヶ崎浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事着手(R5年度事業開始・R8年度運用開始予定) ○ 処理プロセスの最適化、高度化に向けた検討 ○ 施設に関する基本情報や修理履歴等データベースの活用	取組内容及び目標
上半期実施状況 ・近年増加傾向にあるかび臭の原因物質に対し、高機能な粉末活性炭を注入し対応 ・蹴上及び松ヶ崎浄水場において高機能な粉末活性炭注入設備設置工事を実施中 ・浄水処理プロセスの最適化、高度化に向け、蹴上浄水場において浄水処理実験プラントの設置工事を実施中 ・水道施設台帳管理システムを用いて、データを適切に管理・運用している	

【これまでの公表形式】

視点① 京の水をみらいへつなぐ			
方針① つくる			
30の取組項目	取組内容及び目標	令和4年度上半期実施状況	担当課
① 水源から蛇口までの水質管理の徹底	水質監視の強化 ○ 原水及び配水水質自動監視装置による24時間連続監視の実施	・原水水質監視装置で原水の水質変動及び水質異常を24時間連続監視 ・配水水質監視装置で配水を24時間連続監視することで水道水の安全性を担保。	技術監理室水質第1課
	水質検査の徹底 ○ 令和4年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○ 令和5年度水道水質検査計画の策定	・水質検査計画に基づき原水及び水道水の検査を実施 ・令和5年度水道水質検査計画の策定に向けた検討。	技術監理室水質第1課
	○ 水道GLPの認証に基づく精度の高い水質検査の実施 ○ 水道GLPの認証に係る更新審査	・水道GLPに基づき、手順書の見直し、精度の高い検査を実施。 ・厚生労働省統一試験調査に参加し、適正な精度を保持していることを確認。	技術監理室水質第1課
	水安全計画の継続的な運用 ○ 水安全計画の運用、見直し	・水安全計画に基づく水質管理を実施、適正に運用。	水道部管理課
② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進	最適な浄水処理の推進 ○ 3浄水場(蹴上、松ヶ崎、新山科)において、既存注入設備による高機能な粉末活性炭の注入を実施	・5月及び7月に水道原水でかび臭原因物質が高濃度で発生した際には、高機能粉末活性炭を最大限注入する対策を講じた。その結果、水質基準値を超過せず給水することができた。	技術監理室水質第1課 水道部施設課
	○ 松ヶ崎浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置に係る施設設計完了(事業年度:2021～2022)	・実施設計中。	水道部管理課
	○ 蹴上浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事着手(事業年度:2022～2023)	・設計積算を完了。	水道部管理課
	施設の機能を維持するための適切な維持管理 ○ 施設に関する基本情報データベースの運用	・データベース化された台帳をネットワークHDDで共有化し、適切に運用。 ・水道施設台帳管理システムを用いて、台帳データを適切に管理。	水道部管理課

経営評価の各取組項目のレイアウトについて

経営評価冊子における各取組項目評価ページについては、評価基準等の見直しと合わせ、30の取組項目とプランに掲げる数値目標との関連性がより分かりやすくなるよう、各取組項目に関連する数値目標の達成状況を同じページに記載するよう見直す。

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる
水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります
水質管理(水道)、浄水場の改築更新や維持管理

数値目標	R4実績	R5目標	R5実績	達成状況
異臭(かび臭)のない水達成率	98.4%	100%	●●%	×
配水池の耐震化率	53.8%	53.8%	●●%	○

取組① 水源から蛇口までの水質管理の徹底

- 令和5年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施
- 令和6年度水道水質検査計画の策定
- 水道GLPに基づく精度の高い水質検査の実施
- 水安全計画の運用、見直し



水質監視装置 監視画面

取組② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進

- 高機能な粉末活性炭の注入
- 蹴上浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事実施(R4事業開始・R7運用開始予定)
- 松ヶ崎浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備工事着手(R5事業開始・R8運用開始予定)
- 処理プロセスの最適化、高度化に向けた検討
- 施設に関する基本情報や修理履歴等データベースの活用



【ポイント】

- ①経営評価の評価方法の見直しと合わせ、３０の取組項目と数値目標との関連性を分かりやすく示すため、同ページに数値目標を掲載。
- ②最終評価を記載。
- ③年間の取組実施状況、最終評価の理由、今後の取組などを記載。